

報道発表資料の配付日時

3月25日(月) 16時00分

| | | | |
|------------------|---|------|--|
| 発表項目 (行事名) | 「日ロさけ・ます漁業交渉」(ロシア200海里水域分)の結果について | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施日時) | 発表者 | |
| | | 発表場所 | |
| 概要 | 平成31年3月20日からモスクワで開催されていた、「ロシア連邦の200海里水域における日本国の漁船によるロシア系さけ・ますの2019年における漁獲に関する日ロ政府間協議」は、3月22日、操業条件等について妥結しましたので、お知らせします。 | | |
| 参考 | | | |

| | | | |
|-------------------------|------|--------------------|--|
| 報道(取材) に当たって のお願い | | | |
| 他のクラブ との関係 | 同時配付 | 北海道水産記者クラブ 同時レク | |

| | |
|-------------|--|
| 担当 (連絡先) | 水産林務部水産局漁業管理課国際漁業グループ(担当者:谷内) TEL ダイヤルイン 011-204-5487 内線 28-423、28-424 |
|-------------|--|

平成31年3月25日
北海道水産林務部

「日ロさけ・ます漁業交渉」（ロシア200海里水域分）の結果について

平成31年3月20日からモスクワにおいて開催されていた、「ロシア連邦の200海里水域における日本国の漁船によるロシア系さけ・ますの2019年における漁獲に関する日ロ政府間協議」については、3月22日に妥結しました。

概要は以下のとおりです。

1 開催日程及び場所

日程：平成31年3月20日（水）～3月22日（金）

場所：モスクワ（ロシア連邦）

2 出席者

日本側：保科 正樹（ほしな まさき） 水産庁増殖推進部長（政府代表）
ほか、外務省、水産庁及び関係団体の関係者

ロシア側：サフチュク P. S. 連邦漁業庁副長官（ロシア政府代表）
ほか、外務省、連邦漁業庁及び連邦保安庁国境警備局等の関係者

3 結果概要

(1) 漁法等

漁船1隻により、曳き網（ひきあみ）での試験的な操業を行います。（前年同）

(2) 漁獲割当量

95トン (前年 95トン)

うち ベニザケ 30トン (前年 25トン)

シロザケ 30トン (前年 25トン)

カラフトマス 32トン (前年 40トン)

マスノスケ 3トン (前年 2トン)

※ ギンザケ（前年3トン割当）については、割当なし。

(3) 入漁料

約2,432万円（前年 約2,357万円）

(4) 操業期間

平成31年6月1日～7月31日

（前年は、6月15日～7月15日）

連絡先：北海道水産林務部水産局漁業管理課
国際漁業グループ

代表：011-231-4111（内線28-423、28-424）

直通：011-204-5487

日 口 さ け ・ ま す 漁 業 交 渉
(日 口 政 府 間 協 議)
妥 結 に 関 す る 水 産 林 務 部 長 談 話

ロシア200海里水域において、さけ・ます流し網漁業の代替漁法の試験操業を行うため、3月20日からモスクワで開催されていた日口政府間協議が、3月22日に妥結しました。

道といたしましては、道内さけ・ます関係者が要望してきた、さけ・ます流し網漁船を使用した曳き網（トロール）漁法による試験操業の機会が、昨年引き続き確保されたことに安堵しておりますほか、今年の試験操業の結果が、ロシア水域におけるさけ・ます漁業の操業再開につながりますよう期待しております。

試験操業の実現にご尽力いただいた政府代表や関係者の皆様方のご労苦に対し、深く感謝申し上げます。

平成31年3月25日

北海道水産林務部長 幡宮輝雄